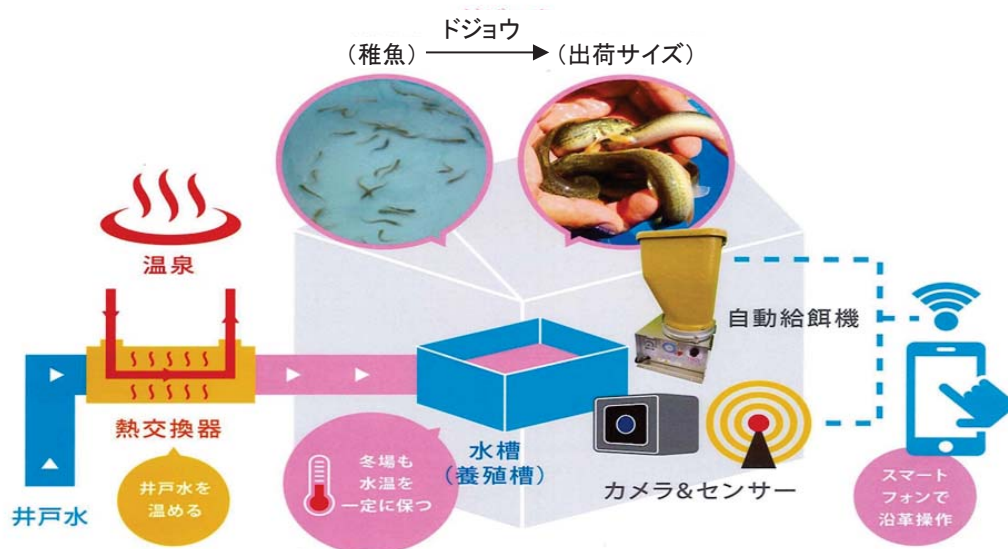
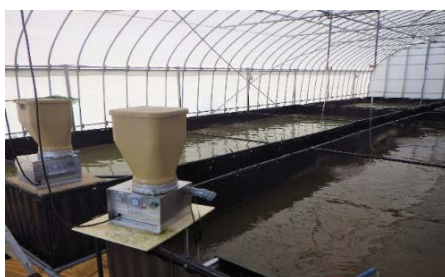


石川の食文化を支える 温泉熱利用養殖システム

能登島ドジョウ

株式会社 ファーム・エンジン



- 能登島温泉の余剰熱を有効活用し、ドジョウ養殖水を通年で加温することにより、養殖期間の短縮（約1.5年→約0.5年）を実現。
- 通年の安定的な出荷が可能となるほか、無泥養殖による捕獲の簡素化など、生産効率の向上に成功。
- IoT活用のカメラ、給餌機、水質センサー等の遠隔操作ができ、省人化・省コスト化にも貢献。

審査委員コメント

能登島温泉の未利用熱エネルギーを、ドジョウ養殖の温度制御に有効活用している取組です。里山資源としてのドジョウが激減している現状において、養殖期間の短縮及び通年での安定出荷を可能にした本システムは画期的であり、ドジョウの地産地消に貢献している点を評価します。今後は、県内各地の未利用熱を利用した更なる事業拡大に期待します。